

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区港南 1-8-23 ShinagawaHEART 2F
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりんはあと

1 活動のテーマ

<テーマ>

SDGs

<テーマの設定理由>

草花や昆虫などの自然物に興味を持ち、探索を楽しんでいるため

2 活動スケジュール

10/26 自然物を遊びに取り入れる
11/27 自然物の匂い
1/28 香水作り
2/20 バスボム作り
3/13 バスボムの泡の観察/写真撮影

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・カメラ ・手作りバスボム ・水槽

4 探究活動の実践

<活動の内容>

・手作りのバスボムを水槽の中に入れ、様子を観察する
・水の中の様子を一人ひとりカメラで撮影する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・小さくなっていくバスボムを見て「ちいさくなってきた。いつまであるの？」という子や、「しゅわしゅわして面白い」「カルピスだ」水槽の中をじっくりと観察する子がいた。
- ・水面ギリギリに手のひらを当てて、「すごい冷たい」と言ったり、「ぱちぱちしてる」と泡が跳ね返ることに気づき、濡れた手のひらを他児に見せたりしていた。
- ・カメラで撮った画像と肉眼での様子の違いに気づき、何度も撮りながら見比べていた。
- ・音に気づき「しゅーって言ってる」と静かに音を聞いていた。
- ・水を触って「冷たくなってる」「作った時も冷たくなってた」と温度の違いにも気づき、過去の経験もしっかり伝えていた。



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・バスボムを複数同時に入れた時に泡が増えたり、音が大きくなっていることに気づいて耳を近づけたりしていた。
- ・手を近づけた際に水が冷たくなっていることに気づいたり、水が跳ね返って手につくことに気が付き喜んだり、子どもたちならではの発想や行動から得られる発見が見つかってよかった。